

「第四回桜開花予想」、700か所の開花日・満開日をアプリ「ウェザーニュースタッチ」で公開 東京・福岡が桜開花一番乗り、西・東日本は例年並～やや早い開花に ～東京・上野恩賜公園は3月22日、京都・清水寺は28日に開花の見込み～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、3月1日～3日にウェザーニュース会員と共に「全国つぼみ調査」を実施し、第四回桜開花予想を発表しました。今シーズンのソメイヨシノの開花は、3月20日に舞鶴公園(福岡県)や靖国神社(東京都)から始まり、熊本城(熊本県)や高知公園(高知県)、上野恩賜公園(東京都)など3月下旬に続々と開花し、3月末から満開を迎える所が増えていく見通しです。現在桜のつぼみは、2月末からの暖かさで生長が加速し、昨年より生長の進んでいるエリアが多くなっています。加えて、西・東日本は3月後半に晴れる日が多く、開花時期は例年(過去5年平均)並～やや早い、北日本は例年並の予想です。

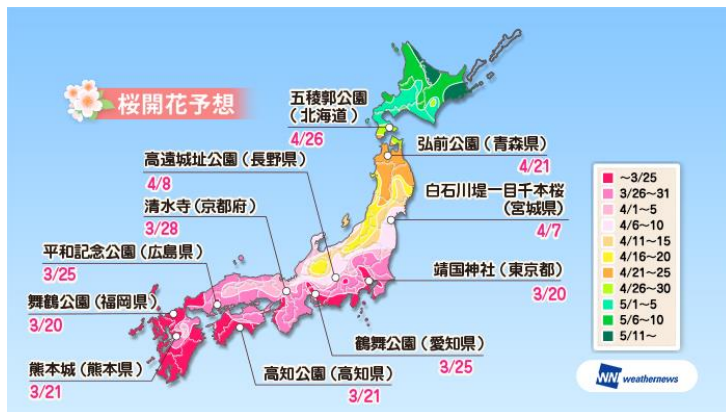
本開花予想は、「全国つぼみ調査」の2,801通の報告、「さくらプロジェクト」の参加者の報告、今後の気象予測をもとに算出しています。全国の桜名所700か所の最新見解は、アプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイト「ウェザーニュース」の『さくらCh.』からご覧いただけます。なお、「第五回桜開花予想」は3月13日に発表予定です。

※本プレスリリースにおける開花時期の“例年”とは、2013～2017年の過去5年の平均で算出しています。

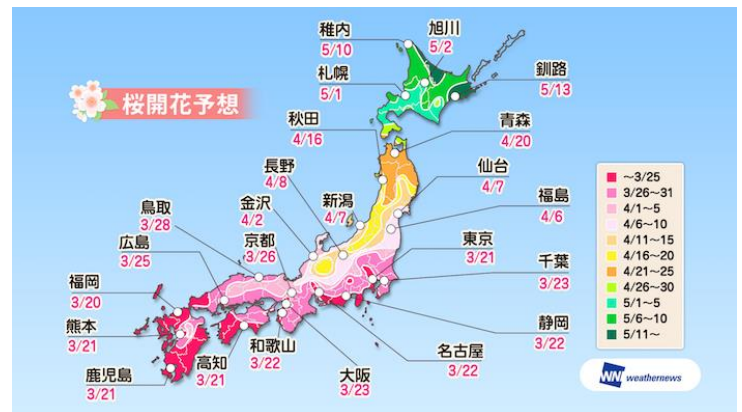
本プレスリリースの素材のダウンロード	全国の桜名所700か所のお花見情報はこちら	
ウェブ版プレスリリース「第四回桜開花予想」 https://jp.weathernews.com/news/22324/	スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」をダウンロード後、『さくらCh.』にアクセス	ウェザーニュースウェブサイト『さくらCh.』 https://weathernews.jp/s/sakura/

◆2018年「第四回桜開花予想」

<西・東日本では例年並～やや早い、北日本は例年並の予想>



名所の桜開花予想



主要都市の桜開花予想

今シーズンのソメイヨシノの開花は、3月20日に舞鶴公園(福岡県)や靖国神社(東京都)で始まり、熊本城(熊本県)や高知公園(高知県)、上野恩賜公園(東京都)など3月下旬に続々と開花し、3月末から満開を迎える所が増えていく見通しです。

今冬の厳しい寒さにより休眠打破も確実に行われ、2月末からの暖かさでつぼみの生長が加速しました。このため、昨年と同時期より生長が進んでいるエリアが多くなっています。ただ、2月下旬も寒気の影響を受けた北陸や東北は、生長が遅れ気味です。

この先3月は、開花期を迎える後半に晴れる日が多く、強い寒の戻りはない見込みです。このため、西・東日本の太平洋側を中心に、開花時期は例年並～やや早くなりそうです。ただ、天気が周期的に変化し寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。このため、北陸は例年並～やや遅い予想です。

北日本では、3月下旬から周期的に天気が変化し、暖かい日が増える見込みのため、つぼみの生長が加速していきます。開花の時期は、例年並みの所が多くなりそうです。弘前公園(青森県)は、GW前に満開を迎えるため、GW前半のお花見がおすすめ

すめです。五稜郭公園(北海道道南)は、4月下旬に咲き始め、GWいっぱいお花見を楽しめそうです。

	北日本	東日本	西日本
開花時期	例年並	例年並～やや遅い(北陸)	例年並～やや早い
開花に影響する時期の気温傾向	3月～5月: 平年より高い	3月: 平年並か高い 4月: 平年並かやや高い	3月: 平年並 4月: 平年並

<「全国つぼみ調査」による全国の桜の生長状況>

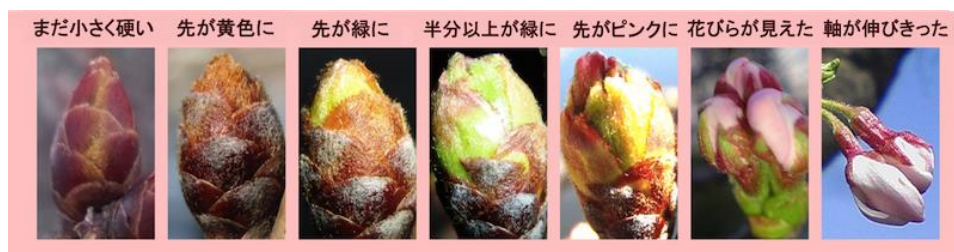
全国 2,801 本の桜(うちソメイヨシノ 2,192 本)の「全国つぼみ調査」の結果、西・東日本では、前回調査(2月22～24日)からたった1週間で、大きく生長した事がわかりました。先が緑になってきたものも現れ、昨年の同時期よりも生長が進んでいます。これは、今冬の厳しい寒さで休眠打破が確実に進められ、2月下旬から10℃を超える暖かい日が増えてきたためと考えられます。

北陸や東北は、先週から生長が進んでいるものの、昨年の同時期に比べて遅れ気味であることがわかりました。2月中旬から度々暖かい日もあるものの、寒暖の変化が大きく、低温傾向が続いていることが原因と考えられます。また、積雪が多い地域では、つぼみの生長がまだ確認できない所も少なくないようです。昨年までの調査結果を参考にすると、北日本で変化がはっきりと出始めるのは、3月中旬以降となりそうです。



※「全国つぼみ調査」について

ウェザーニューズでは、全国の桜の生長状況を調べるため、3月1～3日の期間、全国のウェザーニューズ会員の方と共に「全国つぼみ調査」を行いました。「全国つぼみ調査」では、つぼみの生長を7段階(まだ小さく硬い、先が黄色に、先が緑に、半分以上が緑に、先がピンクに、花びらが見えた、花の軸が伸びきった)で写真と共に報告いただきます。毎週、木～土曜日に「全国つぼみ調査」を行い、全国のつぼみの生長を加味した最新の開花予想を翌週火曜日に発表します。



今季注目となるのは寒波と大雪の影響ですが、2月前半までの寒さは休眠打破のきっかけとなるため、開花を促進する効果があると考えられます。反対に、2月後半以降の寒さはつぼみの生長を抑制する効果があります。これらを踏まえ、開花への影響は以下のように見えています。

<つぼみの生長期:2月以降の状況と今後の予測>

2月中旬以降は寒暖の変化が大きくなってきました。西・東日本は、太平洋側を中心に暖かい日が増えてきましたが、北陸や東北、北海道は、寒気の影響で低温傾向が続いており、つぼみの生長スピードもやや遅くなっているものと見られます。

3月は、天気が周期変化し、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返すと予想されます。3月後半は晴れる日が増え、気温の低下があっても極端な寒の戻りは無い見込みのため、つぼみの生長は順調に進みそうです。このため、西・東日本の開花時期は例年並～やや早い見込みです。一方、つぼみの生長が遅れ気味の北陸は、例年並～やや遅くなると予想されます。

4月は寒気が入りにくくなり、気温は平年並～高い見込みです。特に北日本の開花期が近づく4月後半は、晴れる日も多くなるため、つぼみの生長が加速します。このため、北日本の開花時期は例年並の所が多くなりそうです。

<前回(2月27日)発表の桜開花傾向との相違点>

2月下旬は、西・東日本を中心に暖かい日が増えたため、つぼみの生長が大きく進みました。また、3月の気温傾向が平年よりやや低い予想から、平年並か高い予想に変わりました。3月後半は、一時的に気温の下がる時期がありますが、つぼみの生長が止まってしまうほどの寒の戻りは無いだろうと予想されます。このため、西・東日本については、予想開花日をやや早くしました。北日本は、つぼみに大きな変化がまだ見られない時期にあり、3月以降の気温傾向も見解に大きな変化が無いため、予想開花日は前回とほぼ同じです。

◆名所の桜開花予想

以下の表は、全国700か所の名所から都道府県ごとに1か所(北海道と東京は2か所)をピックアップしたものです。全国の名所700か所の開花予想は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やインターネットサイト「ウェザーニューズ」の『さくら Ch.』からご覧いただけます。

エリア	都道府県	スポット名	開花日 (1輪)	五分 咲き日	満開 開始日	桜吹雪 開始日	今年の 開花日	例年の 開花日
北海道	北海道	五稜郭公園	4/26	4/29	4/30	5/5	4/27	4/27
		二十間道路桜並木 (エゾヤマザクラ)	5/2	5/4	5/5	5/8	5/3	5/4
東北	青森	弘前公園	4/21	4/25	4/27	5/1	4/18	4/20
	岩手	北上展勝地	4/17	4/21	4/25	4/29	4/17	4/16
	宮城	白石川堤一目千本桜	4/7	4/11	4/13	4/18	4/9	4/5
	秋田	桧木内川堤のソメイヨシノ	4/23	4/25	4/26	5/1	4/24	4/24
	山形	霞城公園	4/13	4/16	4/18	4/23	4/13	4/12
	福島	開成山公園	4/8	4/11	4/13	4/19	4/11	4/7
関東	茨城	平和通り	3/30	4/5	4/7	4/12	4/3	3/29
	栃木	八幡山公園	3/30	4/3	4/4	4/9	4/4	3/30
	群馬	前橋公園	3/26	3/31	4/2	4/6	4/1	3/26
	埼玉	幸手権現堂桜堤 (県営権現堂公園)	3/26	4/1	4/3	4/9	3/27	3/25
	千葉	千葉公園	3/24	3/30	3/31	4/6	3/30	3/24
	東京	上野恩賜公園	3/22	3/28	3/30	4/4	3/23	3/22
		靖国神社	3/20	3/27	3/28	4/4	3/21	3/21
	神奈川	三溪園	3/23	3/29	3/30	4/7	3/27	3/23

中部	山梨	大法師公園	3/28	4/1	4/3	4/8	4/3	3/28
	新潟	新潟県立鳥屋野潟公園	4/7	4/11	4/12	4/20	4/8	4/5
	富山	松川公園	4/2	4/5	4/6	4/11	4/4	3/31
	石川	特別名勝兼六園	4/4	4/7	4/8	4/13	4/6	4/1
	福井	足羽山公園	4/4	4/6	4/8	4/14	4/6	4/1
	長野	高遠城址公園 (タカトオコヒガンザクラ)	4/8	4/13	4/14	4/20	4/10	4/5
	岐阜	新境川堤	3/27	4/1	4/3	4/8	3/29	3/26
	静岡	駿府城公園	3/23	3/31	4/1	4/7	3/30	3/24
	愛知	鶴舞公園	3/25	3/30	4/1	4/6	3/31	3/25
	三重	津借楽公園	3/28	4/1	4/2	4/7	4/3	3/28
近畿	滋賀	彦根城	3/31	4/4	4/6	4/12	4/5	4/1
	京都	清水寺	3/28	4/1	4/3	4/9	4/1	3/28
	大阪	大阪城公園	3/25	3/31	4/1	4/8	3/30	3/25
	兵庫	姫路城	3/29	4/4	4/5	4/11	4/2	3/27
	奈良	郡山城跡	3/27	4/1	4/3	4/8	3/31	3/27
	和歌山	和歌山城	3/23	3/30	3/31	4/5	4/1	3/25
中国 ・ 四国	鳥取	打吹公園	3/30	4/3	4/4	4/10	4/4	3/28
	島根	松江城山公園	3/29	4/3	4/4	4/8	4/3	3/27
	岡山	岡山後楽園	3/26	4/1	4/2	4/7	3/31	3/26
	広島	平和記念公園	3/25	3/30	4/1	4/7	3/30	3/25
	山口	香山公園	3/26	3/31	4/2	4/7	4/1	3/25
	徳島	眉山公園	3/25	3/29	3/30	4/5	4/3	3/26
	香川	特別名勝栗林公園	3/27	4/2	4/3	4/10	4/2	3/26
	愛媛	松山城山公園	3/23	3/28	3/29	4/4	4/1	3/25
	高知	高知公園	3/21	3/28	3/29	4/5	3/29	3/21
九州	福岡	舞鶴公園	3/20	3/28	3/29	4/3	3/27	3/20
	佐賀	神野公園	3/22	3/27	3/29	4/4	3/29	3/22
	長崎	立山公園	3/24	3/29	3/30	4/4	3/31	3/23
	熊本	熊本城	3/21	3/26	3/28	4/3	3/31	3/21
	大分	平和市民公園	3/22	3/29	3/31	4/4	4/5	3/24
	宮崎	西都原古墳群	3/21	3/27	3/29	4/1	4/4	3/24
	鹿児島	甲突川河畔	3/25	3/29	3/30	4/5	4/4	3/26

※本プレスリリースにおける例年の開花日は、2013～2017年の過去5年の平均で算出しています。

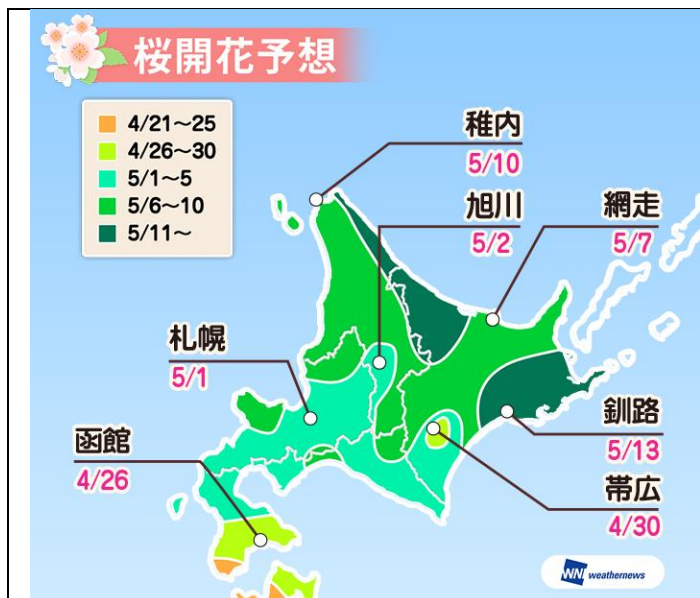
◆全国の主要都市の開花予想(ソメイヨシノ)

		今年の開花予想日	昨年の開花日	例年の開花日	例年比
北海道	函館市	4/26	4/27	4/27	並(1日早い)
	札幌市	5/1	4/28	4/29	並(2日遅い)
	旭川市	5/2	5/3	5/5	やや早い(3日早い)
	稚内市	5/10	5/9	5/12	並(2日早い)
	帯広市	4/30	5/1	4/30	並
	釧路市	5/13	5/14	5/13	並
	網走市	5/7	5/5	5/9	並(2日早い)
東北	青森市	4/20	4/17	4/19	並(1日遅い)
	盛岡市	4/14	4/17	4/14	並
	秋田市	4/16	4/16	4/16	並
	山形市	4/13	4/13	4/11	並(2日遅い)
	仙台市	4/7	4/7	4/5	並(2日遅い)
	福島市	4/6	4/8	4/4	並(2日遅い)
中部 (日本海側)	新潟市	4/7	4/8	4/5	並(2日遅い)
	長野市	4/8	4/11	4/7	並(1日遅い)
	富山市	4/2	4/4	3/31	並(2日遅い)
	金沢市	4/2	4/4	3/31	並(2日遅い)
	福井市	4/2	4/5	3/30	やや遅い(3日遅い)
関東	宇都宮市	3/28	4/3	3/28	並
	前橋市	3/26	4/1	3/26	並
	水戸市	3/29	4/3	3/28	並(1日遅い)
	東京 23 区	3/21	3/23	3/21	並
	横浜市	3/23	3/27	3/23	並
	千葉市	3/23	3/27	3/23	並
	さいたま市	3/23	3/23	3/23	並
中部 (太平洋側)	甲府市	3/25	3/30	3/24	並(1日遅い)
	静岡市	3/22	3/30	3/23	並(1日早い)
	岐阜市	3/23	3/28	3/23	並
	名古屋市	3/22	3/28	3/22	並
	津市	3/28	4/3	3/28	並
近畿	大阪市	3/23	3/29	3/24	並(1日早い)
	京都市	3/26	3/31	3/26	並
	奈良市	3/26	4/3	3/26	並
	和歌山市	3/22	3/30	3/23	並(1日早い)
	神戸市	3/27	4/3	3/26	並(1日遅い)
	大津市	3/29	4/4	3/29	並
中国	鳥取市	3/28	4/2	3/26	並(2日遅い)
	岡山市	3/26	3/31	3/26	並
	松江市	3/28	4/1	3/26	並(2日遅い)
	広島市	3/25	3/27	3/23	並(2日遅い)
	山口市	3/25	4/1	3/25	並
四国	高知市	3/21	3/29	3/21	並
	松山市	3/22	3/30	3/24	並(2日早い)
	高松市	3/26	3/29	3/24	並(2日遅い)
	徳島市	3/22	3/31	3/24	並(2日早い)
九州	福岡市	3/20	3/25	3/19	並(1日遅い)
	佐賀市	3/22	3/29	3/21	並(1日遅い)
	長崎市	3/22	3/30	3/22	並
	大分市	3/21	4/3	3/24	やや早い(3日早い)
	熊本市	3/21	3/31	3/21	並
	宮崎市	3/22	4/2	3/22	並
	鹿児島市	3/21	4/1	3/22	並(1日早い)

※北海道はエゾヤマザクラやチシマザクラなどソメイヨシノ以外も含んでいます。

※開花日はその都市ごとの開花(1輪)のピーク開始日を記載しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

◆各エリアの桜開花予想



開花前線は4月25日頃、道南に上陸！

北海道の桜は、例年並の開花となる所が多い見込みです。「全国つぼみ調査」では、すべての桜が小さく硬いつぼみとなっていました。昨年までの傾向から、生長が現れ始めるのは3月下旬と見られます。

3月中旬までは寒気の流れ込む時期があり、寒さが厳しいものの、3月下旬からは晴れて暖かい日が増えるため、つぼみの生長がだんだん加速します。特に、4月から5月初めにかけての気温は平年並か高く、晴天と暖かさが後押しし、桜の開花は例年並となる所が多い見込みです。

開花前線は、4月25日頃に津軽海峡を渡って渡島半島に上陸します。五稜郭公園(函館市)は、4月26日に咲き始め、GWは期間を通して見頃の桜を楽しめそうです。札幌市は5月初めから咲き始め、GW終盤にはお花見を楽しめるようになる見込みです。その後、5月中旬にかけて、道北や道東へと開花エリアが広がっていきます。

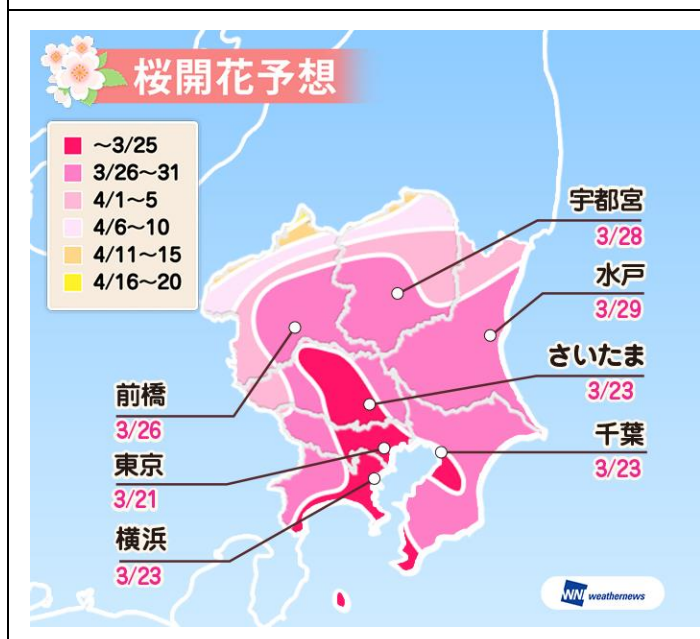


東北南部は4月上旬に開花！弘前公園、GWは早めのお花見がおすすめ

東北の桜は、例年並の開花となる所が多い見込みです。「全国つぼみ調査」では、南部を中心に先週から生長が進んでいます。ただ、昨年と同時期に比べてやや遅れ気味で、まだ小さく硬いつぼみが9割以上を占めていることがわかりました。

3月中旬までは、寒気の流れ込む時期があり、寒さが厳しいため、つぼみの生長はゆっくりです。3月下旬からは晴れて暖かい日が増えるため、つぼみの生長が加速し、北部のつぼみも大きく変化していきます。特に、4月後半は日差しと暖かさが開花を後押しします。このため、桜の開花は例年並の所が多く、一部のエリアでは例年よりやや遅い見込みです。

4月6日頃、福島市付近から開花が始まり、白石川堤一目千本桜(宮城県)は4月7日に開花の予想です。東北南部の早い所では4月10日前後から見頃となり、東北北部では、4月中旬から開花が始まって、4月下旬になるとお花見を楽しめる所が増えていきます。弘前公園(青森県)は4月21日に開花し、GW前に満開を迎える見込みのため、GWは前半のお花見がおすすめです。

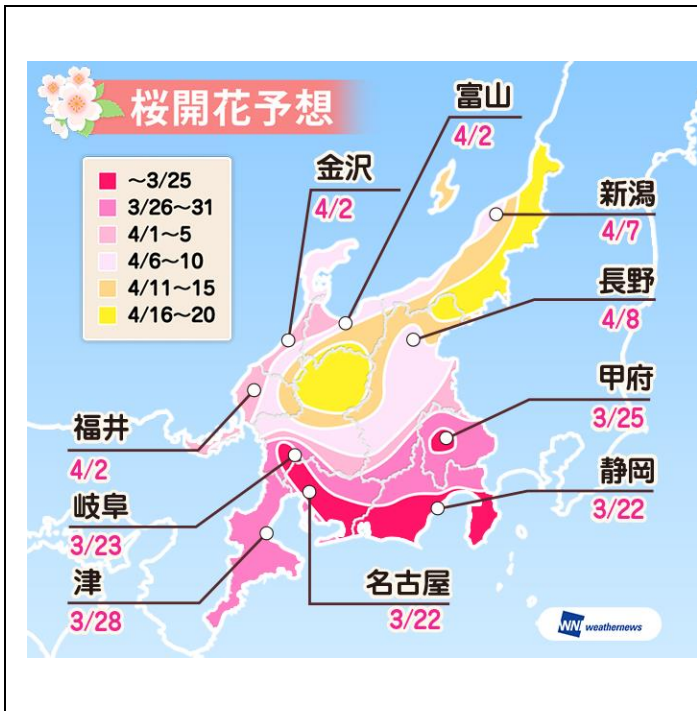


東京が開花一番乗り！南部のお花見は3月末から

関東の桜は、例年並の開花となる所が多い見込みです。2月中旬から寒暖の変化が大きくなり、暖かい日も増えてきたため、つぼみの生長が加速しています。「全国つぼみ調査」では、昨年と同時期よりやや早く生長が進み、先が緑になり始めたつぼみも現れ始めていることがわかりました。

3月は、天気が周期的に変化し、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。ただ、3月中旬からは晴れる日が増え、気温の低下があっても極端な寒の戻りにはならない見込みです。このため、つぼみの生長は順調に進み、桜の開花は例年並みの所が多くなりそうです。

3月20日開花予想の靖国神社(東京都)をはじめ、関東南部は3月20日頃から咲き始め、3月末から4月初めにかけて見頃を迎えそうです。関東北部は、3月末から4月初めにかけて開花ラッシュとなり、4月上旬はお花見を楽しめそうです。



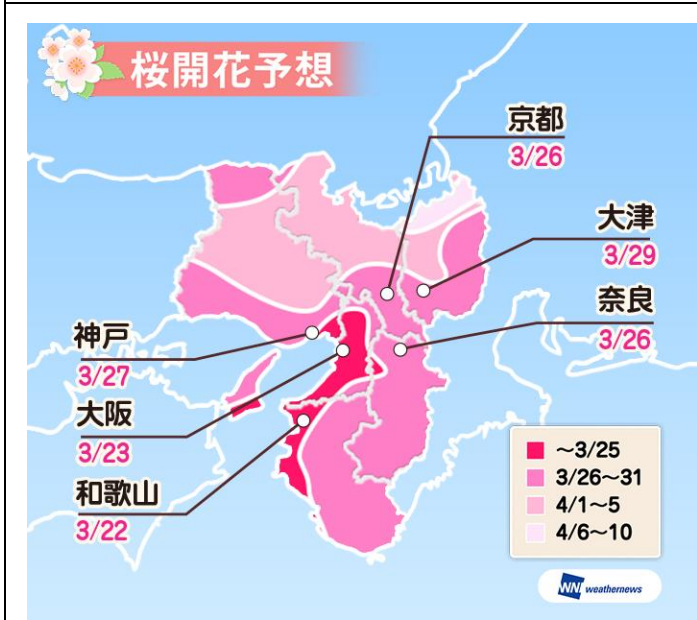
名古屋市や静岡市から開花スタート！東海は4月上旬にかけて見頃に

東海の桜は例年並かやや早く、北陸や甲信は例年並かやや遅い開花となる見込みです。2月中旬以降も寒暖の変化が大きく、日本海側を中心に寒気の影響を受けやすくなっています。このため、つぼみの生長は、北陸や甲信で今年の同時期より遅れ気味です。

3月は天気は周期的に変化し、晴れて暖かい日が増えるものの、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。このため、桜の開花は、北陸を中心に例年並かやや遅い見込みです。

一方、東海は2月末から気温が15℃を超えるような日も増え、つぼみの生長が加速しています。3月中旬以降は極端な寒の戻りもない見込みのため、このまま順調に生長が進み、桜の開花は例年並みの所が多く、例年よりやや早く咲く所もありそうです。

3月22日頃、名古屋市や静岡市付近で開花が始まります。東海や山梨県は、3月末までに次々と開花し、4月上旬にかけて見頃を迎えそうです。北陸や長野県は、4月に入ると開花が進み、4月中旬にかけてお花見を楽しめそうです。

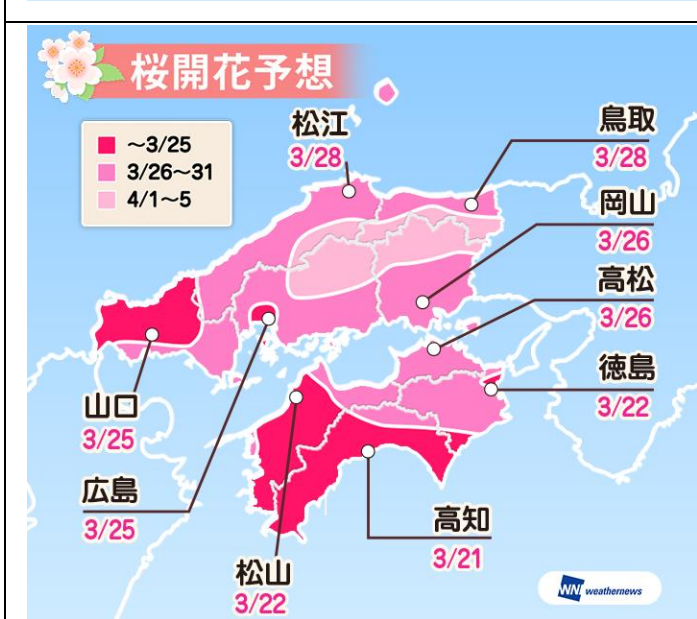


和歌山県から開花！京都市は4月に入ると見頃に

近畿の桜は例年並の開花となる所が多い見込みです。2月中旬から寒暖の変化が大きく、暖かい日が増えてきます。特に、2月末から気温が15℃を超えるような日もあったため、つぼみの生長が一気に進んでいます。「全国つぼみ調査」では、今年の同時期より生長が早く、先が緑になり始めたつぼみも現れ始めていることがわかりました。

3月は、天気は周期的に変化し、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。ただ、3月中旬からは晴れる日が増え、気温の低下があっても極端な寒の戻りにはならない見込みです。このため、つぼみの生長は順調に進み、桜の開花は例年並の所が多くなりそうです。

3月20日頃から和歌山県内の早い所で開花が始まり、25日前後に開花ラッシュとなりそうです。4月上旬にかけて、近畿北部や山沿いへ開花エリアが広がります。京阪神エリアでは、4月初め頃に見頃を迎える所が多くなりそうです。

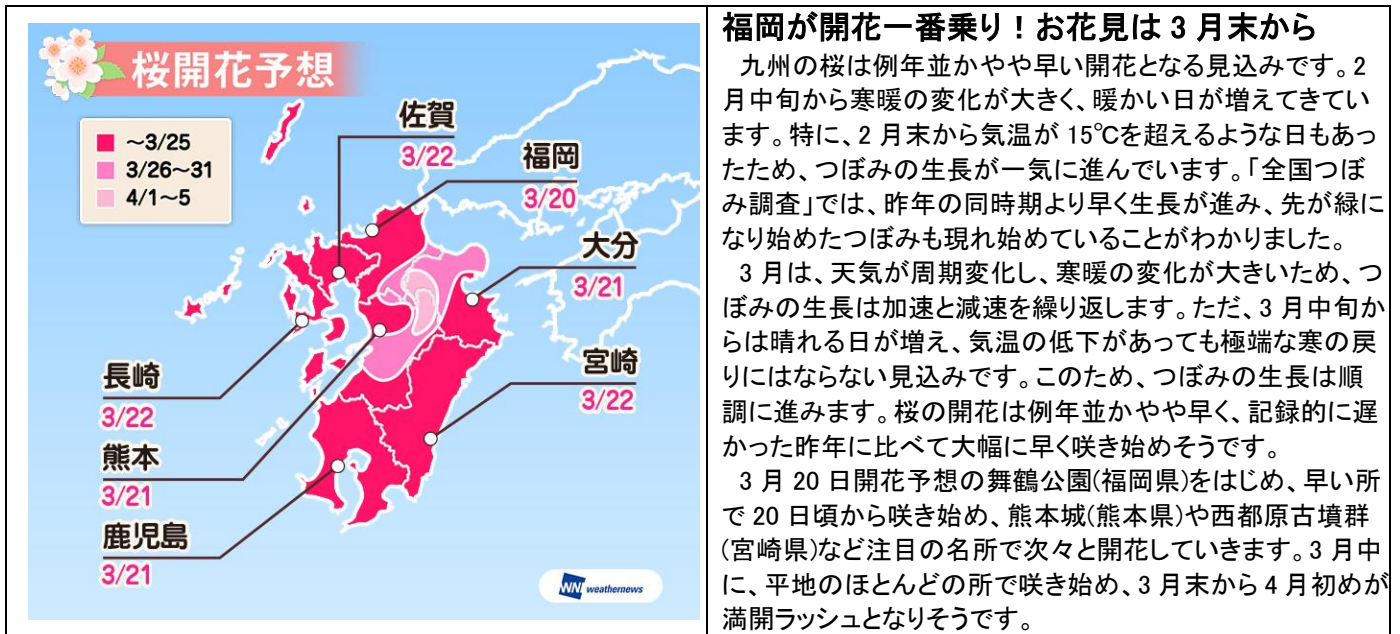


高知県から開花スタート！4月上旬には各地で見頃に

中国・四国の桜は、例年並の開花となる所が多い見込みです。2月中旬から寒暖の変化が大きく、暖かい日が増えてきます。特に、2月末から気温が15℃を超えるような日もあったため、つぼみの生長が一気に進んでいます。「全国つぼみ調査」では、今年の同時期より生長が早く、先が緑になったつぼみも増え始めていることがわかりました。

3月は、天気は周期変化し、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。ただ、3月中旬からは晴れる日が増え、気温の低下があっても極端な寒の戻りにはならない見込みです。このため、つぼみの生長は順調に進み、桜の開花は例年並の所が多くなりそうです。

3月21日開花予想の高知公園（高知県）をはじめ、高知県や愛媛県の早い所で20日頃から咲き始め、25日前後から開花ラッシュとなる見込みです。3月末頃からお花見を楽しめる所が多くなりそうです。



福岡が開花一番乗り！お花見は3月末から

九州の桜は例年並かやや早い開花となる見込みです。2月中旬から寒暖の変化が大きく、暖かい日が増えてきています。特に、2月末から気温が15℃を超えるような日もあったため、つぼみの生長が一気に進んでいます。「全国つぼみ調査」では、昨年の同時期より早く生長が進み、先が緑になり始めたつぼみも現れ始めていることがわかりました。

3月は、天気が周期変化し、寒暖の変化が大きいため、つぼみの生長は加速と減速を繰り返します。ただ、3月中旬からは晴れる日が増え、気温の低下があっても極端な寒の戻りにはならない見込みです。このため、つぼみの生長は順調に進みます。桜の開花は例年並かやや早く、記録的に遅かった昨年に比べて大幅に早く咲き始めそうです。

3月20日開花予想の舞鶴公園(福岡県)をはじめ、早い所で20日頃から咲き始め、熊本城(熊本県)や西都原古墳群(宮崎県)など注目の名所で次々と開花していきます。3月中に、平地のほとんどの所で咲き始め、3月末から4月初めが満開ラッシュとなりそうです。

◆参考: ウェザーニューズの桜開花予想の定義

<名所 700 か所の桜開花予想>

ウェザーニューズでは、木に“1 輪以上”の花が初めて咲いた日を桜の“開花日”と定義しています。また、敷地内に複数の桜の木がある公園などの開花日は、“敷地内の桜の開花(1 輪)がピークを迎える日”と定義しており、施設管理者などの判断を基準としています。

<主要都市の桜開花予想>

同じ地域の桜でも、樹齢や生育環境によって桜の開花日は1本1本異なります。身近な桜の開花日をより感覚に合った形でお伝えするため、各主要都市の開花日は、エリアを代表するある1本の木の開花日を基準とするのではなく、“その都市ごとの開花(1輪)のピーク開始日”を発表しています。ピーク開始日は、その都市の桜の2割が開花(1輪)する日と定義しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

<例年の開花日>

例年の開花日は、2013~2017年の過去5年の平均で算出しています。近年の桜の開花日が早まる傾向を反映したためです。なお、例年の開花日と予想開花日の差が、±2日の場合は「例年並」、±3~4日は「やや早い」「やや遅い」、±5日以上は「早い」「遅い」と表記しています。

<満開開始日>

8分咲き以上となった日を満開開始日と定義しています。

◆参考: ウェザーニューズの桜開花予想の手法

ウェザーニューズでは、これまでに「さくらプロジェクト」に寄せられた 200 万通以上の桜のリポートおよび桜の名所 700 か所への独自取材をして得られた実況データを統計的に分析し、今シーズンの実況気温・予想気温のデータをもとに開花日を予測しています。

なお、次回の「全国つぼみ調査」は 3 月 8 日～10 日に開催、「第五回桜開花予想」は 3 月 13 日発表予定で、以降も毎週火曜日に発表していく予定です。



(1) 桜リポートの分析

ウェザーニューズでは、全国各地の一般の方(ウェザーリポーター)と“つぼみ”の段階から桜の生長を見守り、“開花”“満開”“桜吹雪”“葉桜”の過程を共に観察する取り組み「さくらプロジェクト」を 2004 年以降、毎年実施しています。2017 年の参加者は約 1 万人にのぼり、当社には昨年までの 14 年間にのべ約 18 万人の参加者から寄せられた 200 万通以上の桜リポートが蓄積されています。「桜開花予想」は、全国各地から届くつぼみの生長状況のリポートを取り入れ、1 本 1 本の木に対してピンポイントな予想を発表しています。



(2) 全国 700 か所の桜の名所への取材データ

ウェザーニューズでは、全国の桜の名所 700 か所に電話などで独自に取材を行い、桜のつぼみの生長状況や開花状況を調査しています。取材で得られる調査結果も統計的に分析し、開花予想に反映しています。

(3) 近年の統計データを分析

桜の開花予想を算出する際、過去の統計は分析の基本データとなります。通常、桜の開花予想には過去 30～50 年程度の長期間のデータを使用しますが、昨今の平均気温の上昇傾向により、長期の統計データでは、正確な開花予想の算出が難しくなってきました。ウェザーニューズでは気温が上昇傾向にある過去 20 年の統計データを基本データとして使用し、各地点の開花予想を算出しています。また、近年の急激な温暖化を考慮するために過去 10 年の統計データも参考にして分析を行っています。

(4) 最新の気象データをもとに気温の推移と開花予想を算出

桜の開花には、前年からの気温が大きく関係します。桜の順調な開花には、つぼみの生長を促す春の暖かさに加え、つぼみが休眠打破するために、前年の秋から冬にかけての寒さも必要です。また、開花のタイミングは 3 月の気温に大きく影響されます。3 月の気温が高く、春の訪れが早いほど桜のつぼみの生長は促進され、開花が早まる傾向にあります。一方、開花直前の時期に寒の戻りがあると、寒さが強まった日数だけ開花日が遅れることがあります。寒の戻りによる開花の遅れは、開花時期直前のつぼみ調査や独自週間予報等から予測に反映しています。また、全国 3,000 か所に設置している気象観測システム「WITH センサー」の観測データも加味して予測を行っています。